

2017年12月16日(土) クリスマスコンサートが開催されました

イングリッシュハンドベルをご存知ですか？

16世紀ごろにイギリスで教会の塔の鐘を練習するために生まれた楽器で、その澄んだ音色は「天使のハーモニー」と称されているそうです。

出る音によってハンドベルの大きさは変わり、大きいものではなんと2.5kgもあるとか…。普段なかなか聴く機会のないイングリッシュハンドベルですが、今回はクリスマス前ということもあり、ピアニストの木村有里さん、ハンドベルユニット「ベル・エチュード」さんを迎え、優しい音色に 至福のひとときを過ごすことができました。

ピアノは冒頭から2曲。迫力のある演奏に一気に引き込まれました。

続いてハンドベルでは、ひとつずつ手に持って演奏するのはもちろん、ふたつのベルを一度に持って 和音を鳴らす、バチで鉄琴のように叩く、台に打ち付ける、など様々な奏法と息の合ったチームワークで楽しませていただきました。

ロビーには入院患者さまやご家族さま、外来患者さま、院内保育所の子どもたちなどたくさんの方にご来場いただき、一緒に鈴を鳴らして参加する場面もあり、終始笑顔の絶えない時間となりました。最後は全員で『きよしこの夜』を合唱。約1時間、たっぷり堪能することができました。

木村さん、ベル・エチュードの皆さま ありがとうございます。



木村有里さん



ベル・エチュードさん